

会 議 録

会 議 の 名 称	令和7年度 第1回坂戸市社会教育委員会議
開 催 日 時	令和7年7月15日（火） 開会：午後2時00分 閉会：午後3時00分
開 催 場 所	坂戸市役所 301・302会議室
議長（委員長）	横田 政行
出 席 者	臼井 健一、田中 孝次、菅原 繁子、石橋 妙子、菊地 隆志 市川 なお美、三宅 裕美子、田中 映子、鹿ノ戸 久美子、 久保田 美穂、杉田 義昭、小川 孝、横田 政行 13名出席
欠 席 者	金丸 行男、加藤 拓 2名欠席
事 務 局	三田教育部長、清水次長兼スポーツ推進課長、小林図書館長 菅野社会教育課長、神社会教育課課長補佐 橋村社会教育課主事 6名出席
会 議 次 第	別紙のとおり
配 布 資 料	別紙のとおり

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局 三田教育部長	委嘱状交付（臼井委員、菊地委員に交付）
司会（事務局）	1 開 会
横田委員長	2 あいさつ 私は坂戸市民運動公園で「やさしい卓球教室」という教室を開き、指導を行っている。初心者も多かったので、開講後は暑

三田教育部長	さで体調不良を訴える参加者もいた。年々暑さが厳しさを増し、屋内でのスポーツにも影響が出ていると感じている。環境整備など、今後暑さ対策はますます必要性が高まるものと考ええる。 社会教育委員の皆様には、お忙しい中御出席をいただき、心より感謝申し上げます。本日、太田教育長が別の公務に出ており社会教育委員会議に出席できないため、代わりに坂戸市教育委員会三田より挨拶を申し上げます。 社会教育委員の皆様においては、日頃から本市の社会教育行政の推進に多大な御尽力をいただき、感謝申し上げます。 本日は、新たに2名の方に委嘱状を交付した。継続いただく委員の皆様とともに、本市の社会教育に対してお力添えのほどよろしくお願いしたい。 さて、昨年度は、神楽・獅子舞・くどきなど坂戸の伝統芸能を一堂に介した「坂戸のまつり」を8年ぶりに開催した。2万人以上の来場者で大いに賑わったが、特に坂戸の子どもたちに本市が誇る文化財に触れてもらい、伝統文化を未来へ継承する第一歩となる事業を行うことができた。また、社会教育委員会議でも御協議いただいた「坂戸市職員出前講座」など、令和7年度の各種社会教育事業についても、おかげ様をもって、順調にスタートすることができている。 各方面で御活躍いただいている社会教育委員の皆様から、忌憚ない御意見をいただき、本市の社会教育をより一層充実させていきたいと考えているため、引き続き御理解・御協力を賜るようお願いする。 結びに、社会教育委員の皆様のますますの御健勝と御活躍を祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いする。
各委員 司会（事務局） 司会（事務局） 事務局 （社会教育課）	3 自己紹介 資料確認 初めて委員となる方もいるため、社会教育委員の概要について事務局から説明する。 （資料に沿って説明） 社会教育法第17条における、社会教育委員の職務として、 ・社会教育に関する諸計画の立案

事務局 (社会教育課)	・社会教育委員会議での教育委員会からの諮問に対しての意見 ・必要な研究調査 ・社会教育関係団体等への助言・指導 となっている。 任期は2年となる。坂戸市の社会教育の一層の充実に向け、社会教育委員の皆様からの御意見をいただきたい。よろしくお願いします。
事務局 (社会教育課)	4 協議事項 (1) 入間地区社会教育協議会役員等の選出について (資料に沿って説明) 社会教育委員の皆様には、入間地区社会教育協議会の役員をはじめとした、社会教育に関連がある役職をお願いしている。 今回、継続いただいている委員の皆様については現在の役職を引き続き担っていただき、退任された本橋委員が務めていた坂戸市人権教育推進協議会委員については、新しく委員になられた菊地委員をお願いしたい。
議長 (委員長)	事務局案に異議はあるか。
委員	異議なし。
議長 (委員長)	決定した。各委員にはよろしくお願いします。
事務局 (社会教育課)	(2) 令和7年度社会教育関連事業計画について (資料に沿って説明) 社会教育課では、生涯学習・社会教育・文化財保護、青少年育成の各種事業を行っている。 人権教育推進協議会で人権教育の向上を目的に「浅草・弾左衛門とその周辺の歴史を巡る」として、バスを使用しての現地研修を7月に企画している。 また、青少年事業では坂戸市在住の小・中・高の児童・生徒に作文を発表してもらおう「少年の主張大会」を開催する。例年観客の減少が課題のため、坂戸高校ダンス部にパフォーマンスの協力してもらおうなど工夫を行い、青少年事業を

事務局 (社会教育課)	盛り上げられるよう企画している。 7月30日より、文化会館にて出土品展を開催する。今回は入西の長岡遺跡を題材に行う。縄文時代から平安時代1万年間の人々の暮らしを確認できる珍しい遺跡であり、是非足を運んでいただきたい。 地域交流センターは、令和6年4月1日から全公民館が交流センター化したが、人権講座をはじめとした社会教育事業については、社会教育の実践の場として引き続き行っている。 二十歳のつどいは各中学校区7会場で行っている。 図書館、スポーツ推進課においても各種事業を展開しており、社会教育の推進に努めていただいているので、ぜひ委員の皆様から令和7年度事業について御意見をいただきたい。
議長（委員長）	事務局案に意見はあるか
委員	特になし
議長（委員長）	委員の方から協議事項があるか
委員	特になし
事務局 (社会教育課)	5 報告事項 (1) 令和7年度社会教育委員研修会等について 研修会等の参加状況として、 ・入間地区社会教育協議会理事会及び総会 令和7年5月15日（木）に、ウェスタ川越で開催され、小川委員に参加いただいた。 ・入間地区人権教育推進協議会 令和7年5月28日（水）に、狭山市民会館で開催され、菅原委員に参加いただいた。 ・社会教育委員部会については、 第2回まで終了している。今後の予定は、 第3回 令和7年9月11日（木） 第4回 令和7年11月19日（水） 第5回 令和8年2月13日（金） である。 研修会等の予定として、

事務局 (社会教育課)	・入間地区社会教育委員研修会 令和7年10月10日(金)に、富士見市民文化会館キラリ☆ふじみにて開催されるので、多くの方に御参加いただきたい。 ・関東甲信越静社会教育研究大会 令和7年11月20日(木)～21日(金)に、神奈川県横浜市で開催される。旅費等は予算化していないが、希望がある場合には、事務局に連絡をいただきたい。 ・入間地区生涯学習フォーラム 令和8年2月6日(金)に、三芳町文化会館 コピスみよしにて開催される。 ・坂戸市人権教育実践報告会 令和8年2月5日(木)に、入西地域交流センターにて行う。 ・第28回坂戸市埋蔵文化財出土品展 7月30日(水)から8月5日(火)まで行う。8月2日(土)3日(日)には、昨年度好評だった、学芸員によるギャラリートークもある。ぜひ、多くの方に参加をお願いしたい。
事務局 (社会教育課)	(2) 令和6年度地域交流センター事業報告及び令和7年度地域交流センター事業計画について 主な事業のみ説明する。共済事業として、第7回坂戸市健康麻雀交流大会を市内の健康麻雀倶楽部の方々を対象に令和6年11月12日(火)に開催した。80名の参加があった。 中央地域交流センターで「あなたのアイデアが講座になる! U30地域交流センター」として30歳以下の若者を対象にグループワーク方式で企画し、開催した。15名の参加があった。また、「紙しばい、手品、人形劇がはじまるよ」として、三芳野児童センターにて行った。30名の参加があった。 三芳野地域交流センターで「夏休み子ども教室(ランチクッキング)」として、夏休みの昼食を小学生同士で協力して作り、食事や料理の楽しさを学ぶ事業を行った。16名の参加があった。 勝呂地域交流センターで「十五夜を楽しむ」として、坂戸語り部の会の皆さんに御協力いただき、年中行事の伝承を図ることを目的に行った。54名の参加があった。「第1回

事務局 (社会教育課)	勝呂地域交流センター文化祭」として、地域交流センター利用団体が、作品の展示や舞台発表で、活動の成果を広く紹介した。地域交流センターに名称を変更後初めての開催となった。10月27日に開催予定であったが、衆議院の総選挙の日程と重なったため、日程を変更し行った。 入西地域交流センターで「手作りパン教室」として、初心者でも失敗しない米粉の入ったシンプルパン・オニオンブレッド作りを学んだ。延べ15名の参加があった。「人権講座」として、人権問題についての正しい知識と理解を深めることを目的に行った。講師にはウクライナの戦地に取材に行かれた経験のあるアジアプレス・映像ジャーナリストの玉本 英子氏を講師として招いた。191名の参加があった。 大家地域交流センターで「健康ボイス」として、声トレと脳トレそして音楽による健康方法を学ぶことを目的に、音楽を歌うなどの発声からの脳トレを学んだ。延べ52名の参加があった。 北坂戸地域交流センターで「みんなおいでよ！子ども縁日」として、模擬店、輪投げ、映画、工作など夏休みの思い出作りを行った。令和6年度より開催している。人気な模擬店は午前中に物がなくなってしまうなど、活気のあるイベントとなった。199名の参加があった。 城山地域交流センターで「城山わくわくバスツアー」として、バスツアーを通じて、見分を広めると同時に、交流を図ることを目的に栃木県小山市へ行った。参加人数は25名であった。 浅羽野地域交流センターで、「幼児家庭学級・ママ教室」を情報交換や親子で遊びながらの交流を目的に、本日出席の鹿ノ戸委員に御協力いただき行った。参加人数は68名であった。 千代田地域交流センターで「ゴールデンエイジ子どもの運動能力向上教室」として、神経系が発達しやすいと言われる「ゴールデンエイジ（9～12歳）」を対象に、様々な動きを体験させることで運動能力を向上させることを目的に走り方の練習などを行った。延べ参加人数は59名であった。 令和7年度地域交流センター事業計画を説明する。主な事業のみ説明する。共催事業として、「第8回坂戸市健康麻雀交流大会」として入西地域交流センターを会場に、11月
------------------------	---

事務局 (社会教育課)	11日(火)に開催予定である。 中央地域交流センターで「クリスマスツリーボード教室」を成人を対象に11～12月頃開催予定である。 三芳野地域交流センターで「夏休み子ども教室(オリジナルマルちゃん焼きそば作り体験)」として、7月頃開催予定である。 勝呂地域交流センターで「プリザーブドフラワー教室」として、生花からできた枯れない花を使用した壁掛けブーケを作成することを目標に12月16日(火)に開催予定である。 親子でパン作りを通してコミュニケーションを図ることを目的に7月30日(水)に開催予定である。「人権講座」として、人権問題についての正しい知識と理解を深めることを目的に7月10日(木)に行った。多文化交流を主題とし、NPO 法人 NGO 多文化共生協働センター・川口 事務局長・戸塚日本語教室代表 中村 義郎 氏を講師として招いた。141名の参加があった。 大家地域交流センターで「カラオケ大会」を、成人を対象として1月25日に開催予定である。 北坂戸地域交流センターで「ミニ埴輪をつくろう!」として、坂戸市歴史民俗資料館の学芸員を講師として、8月6日(水)に開催予定である。 城山地域交流センターで「布ぞうり教室」として、7月11日(金)に環境学館いずみのボランティアの方に御協力いただき開催した。参加人数は10名であった。また、「夏の寄せ植え教室」として、成人を対象に8月8日(金)に開催予定である。 浅羽野地域交流センターで、「料理教室(そば打ち)」を5月22日(木)、25日(日)に開催した。今年度で3回目の開催で、毎年応募が多数であり、昨年度までは1回の開催であったが、今年度から2回の開催に増やした。 千代田地域交流センターで「ちよだ運動能力向上教室」として、昨年度に引き続き、小学3～6年生を対象として、神経系が発達しやすいと言われる「ゴールデンエイジ(9～12歳)」を対象に、様々な動きを体験させることで運動能力を向上させることを目的とし、前期は5月12日(月)、26日(月)、6月16日(月)、23日(月)に、後期は10月～11月頃開催予定である。また、「消しごむハンコづくり教室」を7月29日(火)に、夏休みの自由研究の一環として、
------------------------	--

事務局 (社会教育課)	子どもが作品づくりを行えるよう開催予定である。 (3) 令和7年度家庭教育学級支援研修会の結果について 坂戸市家庭教育アドバイザーの会に依頼し、PTA役員を対象に、「親の学習」を体験し、家庭教育の重要性を再認識するということを目的とした研修会を6月25日(水)に、入西地域交流センターにて実施した。坂戸市家庭教育アドバイザーの会の宇佐美先生に講義をいただき、保護者・PTA役員等26名の方の参加があった。アンケートについては、後ほど確認をお願いしたい。
事務局 (社会教育課)	(4) 令和7年度学力のびのび塾の実施状況について 市内の小学4年生及び5年生を対象に、学力のびのび塾を開催している。 国語、算数の2教科について、前学年(4年生は3年生、5年生は4年生)のドリルに取り組み、分からないところを学習支援員に聞きながら、自分のペースで学習を進めている。 市内の地域交流センター等を会場として、各会場年間19回のスケジュールで実施予定である。
事務局 (社会教育課)	(5) 令和7年度子ども大学にしているまの実施について 城西大学、明海大学、日本医療科学大学、坂戸市、毛呂山町の5団体で実施している。『空気が液体に変わる世界！？～今年もバナナで釘打しよう～』『おくすり実験教室～おくすりの正しい使い方を学ぼう～』といった内容で、毎年、子どもたちから大変好評をいただいております、今年度も25名定員のところ30名以上の希望があった。抽選を行い、坂戸市からは17名の参加となっている。
事務局 (スポーツ推進課)	(6) 第23回坂戸市民スポーツフェスティバルの結果について 令和7年4月29日(火)に、市民総合運動公園及び勝呂地域交流センターを会場に開催した。 参加者数が6,907名と昨年度より2,392名増加している。キッズダンスのパフォーマンスやキッチンカー業者の増加が参加人数を伸ばしたと考えている。 救護報告については、2件対応があった。70代の方の擦

事務局 (スポーツ推進課)	り傷と3歳の子どもの擦り傷であり、いずれも消毒、絆創膏の対応をしたものであり、事故報告はなかった。 来年度も来場者の増加を見込めるような内容を検討していきたい。
事務局 (スポーツ推進課)	(7) 第38回県民総合スポーツ大会兼第42回坂戸市レクリエーションスポーツ大会の結果について 令和7年6月1日(日)午前9時30分開会、午前11時40分終了となった。 種目については、昨年度より、ニュースポーツであるモルックを実施した。モルックは、フィンランド発祥のスポーツで、木製の得点の書かれた12本のスキットルと呼ばれる的に対し、3～4メートル離れたところからモルックと呼ばれる棒を下投げで投げ、倒れたスキットルの本数や、スキットルに書かれた点数により得点を競うものである。 当日は4チームのリーグ戦で試合を行い、各リーグの1位のチームで決勝トーナメントを行った。 参加者数については、54名であり、事故等の報告はなかった。 初めてでも楽しめて差がつきにくく、計算をするために頭を使うということから「また参加したい」という意見を多くいただいたことから、レクリエーションスポーツ協会では、今後、モルックの普及に力を入れていく。
事務局 (スポーツ推進課)	(8) 第3回坂戸市パラスポーツふれあい交流会の結果について 令和7年6月8日(日)午前9時30分開会、正午に終了となった。 会場については、市民総合運動公園の大体育室、小体育室である。 当日の天候は曇りであり、あまり気温が上がらなかったため、事務局としては一安心であった。 本事業では、障がいの方のみを対象として事業ではなく、健常者の方とのふれあいを目的に多くの関係団体に参加について御協力いただき開催している。 種目はボッチャ、車いすバスケットボール、玉入れ、サウンドテーブルテニスの計4種目を実施した。 また、最後に参加者全員でフォークダンスのマイム・マイムを踊り、終了となった。 実施結果のうち、参加者については、坂戸市障害者団体連

事務局 (スポーツ推進課)	絡会の構成団体12団体で、一般(個人)参加者は、当日受付をした人数となっており、合わせて62名参加、役員及び来賓と合わせて総勢113名で実施することができた。 けが人や病人はなし。 来年度以降も実施をするにあたり、種目の選択について障害者団体連絡会の意見を聞きながら検討していきたい。
事務局 (スポーツ推進課)	(9) 第38回県民総合スポーツ大会兼第9回坂戸市ラケットテニス大会の結果について 令和7年7月6日(日)、市民総合運動公園大体育室にて実施した。教育委員会主催の事業であり、スポーツ推進委員が主管として実施している。 参加チーム数は18チームで、75名の参加があった。昨年度と同数となっている。 18チームを6つのグループに分け、リーグ戦を実施した。 熱中症が心配されたが、負傷者等もなく無事、終了することができた。
事務局 (スポーツ推進課)	(10) 市民プールの休止について 令和2年度から令和4年度まで、新型コロナウイルス感染症の影響により、休止していた。しかし、コロナ以前から老朽化が懸案事項となっており、毎年、多額の修繕料をかけて開設準備を行っていた。丸5年間、開設することができず、老朽化がより顕著な状況となってしまったため、令和6年度に引き続き、休止とすることとなった。
事務局 (中央図書館)	(11) 第12回坂戸市図書館を使った調べる学習コンクールについて 図書館の資料をはじめ、様々な情報を調べる学習を通じて、児童が自ら考え、判断し、表現する力を育む。また、その活動を通して坂戸市の公共・学校図書館での調べ方を体得し、有効に活用する力を養うことを目的として、毎年開催し、今年度で12回目を迎える。 募集期間は令和7年9月2日(火)から9月9日(火)までとし、各小学校でとりまとめ、中央図書館への提出をお願いしている。 対象は小学校3年生から6年生までとし、グループでの

事務局 (中央図書館)	参加も可能である。 図書館を使った調べる学習コンクールの応援講座を7月30日(水)から全5回開催する。また、城西大学水田記念図書館に協力をいただき、作品が完成するまで、大学生による講義・ワークショップを行う。
議長(委員長)	報告事項について、質疑等はあるか。
委員	坂戸市パラスポーツふれあい交流会等の障がい者スポーツレクリエーションは健常者の方にも市民運動会の際等と一緒にできたりしないのか。
事務局 (スポーツ推進課)	今回で3回目になる坂戸市パラスポーツふれあい交流会では健常者の方に体験していただくような形で開催している。体育祭という意見をいただいたが、来年度の坂戸市民スポーツフェスティバルで坂戸市パラスポーツふれあい交流会と合同開催できないか検討している。
議長(委員長)	その他報告事項について、質疑等はあるか。
委員	意見なし
議長(委員長)	その他として、委員の方から報告事項があればお願いしたい。
委員	意見なし
事務局 (社会教育課)	6 その他 (1) 第2回坂戸市社会教育委員会議の日程について 次回は、10月9日(木)午後2時から、坂戸市役所にて予定している。開催通知を9月に送付するので、よろしくお願いしたい。
事務局 (社会教育課)	(2) 社会教育委員会議の報酬等について 会議出席に際しての報酬及び費用弁償の支出について記載した資料を配布しているので確認をお願いしたい。
議長(委員長)	全ての議事が終了したので、議長の任を解かせていただき、進行を事務局に戻す。

副委員長	7 閉 会 長時間にわたり、慎重審議をしていただき、感謝する。 もうすぐ子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まる。ガールスカウトでは、毎年、夏にキャンプを行っていたが、最近では夏を避けて開催している。今年度は北本市にキャンプに行く。バンガローには冷房がついているとの事なので、体調の心配がない。予期せぬことが起こってしまう昨今の状況で環境整備は非常に重要であると感じた。 本日は、令和7年度に関する多くの報告事項をいただき、令和7年度も順調にスタートしたことを嬉しく思う。 まだまだ暑さが続いていくことと思う。皆様にはお体御自愛いただくとともに、御活躍いただくことを願っている。 以上で、第1回坂戸市社会教育委員会議を閉会する。
------	---